

あなた又はあなたの家族が使用するお薬は
エダラボン点滴静注液 30mg「日医工」
です

エダラボン点滴静注液 30mg「日医工」は、脳梗塞が起こったときに発生する有害物質（フリーラジカル）を取り除き、脳の細胞を守るお薬です。

この薬を使う際に確認すべきこと

- あなた又はあなたの家族が以下に該当する場合は、担当医に申し出てください。
 - ・ 過去にこの薬に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・ 腎臓、肝臓、心臓に障害のある人
 - ・ 感染症のある人
- 血液検査、腎機能・肝機能の検査が、この薬を使う前と開始後に頻回（週 3 回程度）に行われます。

この薬の使い方

患者さんの症状にあわせて、担当医が決めます。

通常、症状がみられてから 24 時間以内に投与を開始し、1 日朝夕 2 回、点滴静注を行います。投与期間は 14 日以内です。

この薬の副作用

この薬で特に注意が必要な副作用は次のようなものです。

いずれも必ず起こるというものではありませんが、症状があらわれた場合や、他に異常が認められる場合には、速やかに担当医や看護師などの医療関係者に連絡してください。

副作用	主な症状
急性腎障害・ネフローゼ症候群	尿量が少なくなる、ほとんど尿がでない、一時的に尿量が多くなる、発疹、むくみ、体がだるい、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤い
劇症肝炎、肝機能障害、黄疸	倦怠感、食欲不振、発熱、発疹、吐き気・嘔吐、かゆみ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）
血小板減少、顆粒球減少	手足に点状出血、あおあざができやすい、出血しやすい（歯ぐきの出血、鼻血、生理が止まりにくい）、突然の高熱、さむけ、のどの痛み
播種性血管内凝固症候群（DIC）	あおあざができやすい、鼻血、歯ぐきの出血、血尿、鮮血便、目（結膜）の出血、意識障害、呼吸困難、動悸、息切れ、尿が出なくなる、黄疸
急性肺障害	発熱、空咳が出る、息苦しくなる
横紋筋融解症	手足・肩・腰・その他の筋肉が痛む、手足がしびれる、手足に力が入らない、こわばる、全身がだるい、尿の色が赤褐色になる
ショック、アナフィラキシー	皮膚のかゆみ、蕁麻疹、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁

<参考資料>

- ・エダラボン点滴静注液 30mg「日医工」添付文書
- ・「重篤副作用疾患別対応マニュアル」（厚生労働省 重篤副作用総合対策事業）